

暮らし・平和に憲法を生かす政治へ

参院選 共産党4議席

政策に共感 実現に全力

7月10日投開票の参院選で、日本共産党は4議席（改選6）を獲得しました。東京選挙区の山添拓氏が再選を果たし、比例代表で田村智子副委員長、岩淵友仁比聡平の三氏が当選。沖繩選挙区では、大接戦を制し「オール沖縄」の伊波洋一氏が議席を守り抜きまし

選挙の結果、自民・公明・維新・国民民主など改憲勢力が、憲法改定の発議に必要な3分の2議席を上回りました。岸田文雄首相は、記者会見で「国会で憲法論議を深めて発議できる案をまとめる努力に集中したい」（10日夜）と早速前のめりの姿勢を示しています。しかし、JNN世論調査では参院選の最大争点は「経済対策」が39%、「少子高齢化対策」、「社会

保障」が15%に上る一方、「憲法改正」と答えた人は僅か4%。多くの国民は改憲を望んでいません。憲法9条を生かして東アジアに平和を築く「外交ビジョン」、消費税5%減税など新自由主義を転換し「やさしく強い経済」へと訴えた日本共産党。志位和夫委員長は、選挙結果を受けた記者会見（10日夜）で「党の政治的な訴えは国民の願いに立ったもので、訴えが伝わったところでは共感が広がった。大いに自信をもって公約実現に頑張りたい」と力説。「9条改憲を許すな」の一点で、国民的な大運動を起こしていく決意を表明しました。（しんぶん赤旗日曜版より）

平和と自由つらぬいて 日本共産党創立100年

日本共産党は7月15日、党創立100周年を迎えました。これに先立って、志位和夫委員長は14日、国会内で記者会見し、談話を発表しました。

志位氏は「日本共産党の100年は、日本国民の利益を擁護し、平和と民主主義、自由と平等、社会進歩をめざして、その障害になるものに対しては、それがどんなに強大な権力であろうと、勇気をもって正面から立ち向かってきた歴史です」と語りました。

100年を貫く特質として、①どんな困難のもとでも、決して国民を裏切らず、社会進歩の大義を貫いてきたこと②科学的社会主義を土台に、つねに自己改革を進めてきたこと③つねに国民との共同で政治を変えるという姿勢を貫いてきたこと——を強調。それは、ただ過去の歴史の問題にとどまらず、今に生きる力を発揮していると語りました。

ふうちゃん&みよちゃん の井戸端会議

ふう 参議院選挙、ちよー悔しい！

共産党の議席が減ったし。

みよ そうそう。そのうえ、改憲勢力が発議に必要な3分の2議席を上回ったよね。

ふう 岸田首相は、記者会見で「発議できる案をまとめる努力に集中したい」と言ってるし、どうなるの？どうすればいい？

みよ うーん。まず勉強？と行動！選挙のとき、三尾さんが憲法についてしゃべってたよ。話を聞いてみようよ。

ふう そうだね。三尾さん。選挙お疲れさまでした。憲法のこと聞きたいよ。

三尾 どんなことかな？話したいことはいっぱいあるよ。（つつく）

参議院選挙の結果 について

2022年7月11日

日本共産党中央委員会常任幹部会（しんぶん赤旗日刊紙）7月12日（一部を抜粋）

参議院選挙で、日本共産党を支持してくださった有権者のみなさん、酷暑のもとで奮闘していただいた支持者、後援会員・サポーター、党員の皆さんに、心からの感謝を申し上げます。日本共産党は、選挙区選挙では、唯一の現職区だった東京選挙区で、山添拓候補の再選をかちとることができました。

沖繩選挙区で、大激戦を制して「オール沖縄」の伊八洋一候補の議席を守り抜くことができたことは、沖繩の今後を展望しても重要な勝利です。比例代表選挙で、改選5議席から3議席への後退という、たいへんに残念な結果となりました。常任幹部会として、こうした結果となったことに対して、責任を深く痛感しています。

